

千葉市感染症発生動向調査情報

2020年 第10週 (3/2-3/8) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数	10週	9週	8週	7週
小児科	18	18	18	18
眼科	5	5	5	5
インフルエンザ*	28	28	28	28
基幹定点	1	1	1	1

上段:患者数

下段:定点当たりの患者数

「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数。

定点	感 染 症 名	千 葉 市					千葉県 2/24-3/1 9週
		注意報	3/2-3/8	2/24-3/1	2/17-2/23	2/10-2/16	
			10週	9週	8週	7週	
小児科	RSウイルス感染症		0	3	6	1	33
	咽頭結膜熱		1	1	5	2	32
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	○	62	48	82	58	502
	感染性胃腸炎		52	65	66	69	466
	水痘		6	8	4	5	52
	手足口病		0	0	0	3	4
	伝染性紅斑		1	5	3	0	23
	突発性発しん		3	9	7	3	22
	ヘルパンギーナ		0	0	0	0	2
	流行性耳下腺炎		0	3	2	6	10
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)		52	89	153	232	857
眼科	急性出血性結膜炎		0	0	0	0	0
	流行性角結膜炎		0	0	0	2	4
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0	0	0	0	0
	無菌性髄膜炎		0	0	0	0	0
	マイコプラズマ肺炎		0	2	2	0	0
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0	0	0	0	0
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0	0	0	0	0

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患(8件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	50歳代	病原体の分離・同定	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	女性	90歳代	病原体の分離・同定
結核	男性	60歳代	病原体等の検出等	侵襲性肺炎球菌感染症	男性	40歳代	病原体抗原の検出
結核	男性	70歳代	病原体等の検出	梅毒	女性	20歳代	血清抗体の検出
結核	男性	70歳代	IGRA検査	-	-	-	-
結核	女性	90歳代	病原体遺伝子の検出等	-	-	-	-

*第10週は、結核5件(33)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1件(3)、侵襲性肺炎球菌感染症1件(3)、梅毒1件(5)の発生届があった。

※ ()内は2020年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第10週のコメント

<A群溶血性レンサ球菌咽頭炎> 前週より増加し3.44となった。過去10年の同時期と比べると多い。

■ トピック ■

＜A群溶血性レンサ球菌咽頭炎＞

全国レベルの第9週の定点当たりの報告数は2.99となり、過去10年の同時期と比べると多くなっています。都道府県別では富山県、石川県、福岡県の順で多く報告されています。

千葉県の定点当たりの報告数は3.75で、全国レベルと比べると多めとなっています。

千葉市の第10週は前週より再び増加に転じ3.44となりました。過去10年の同時期と比べると多くなっています。区別の発生状況は、緑区(7.75/定点)で最多で、同区の4歳で最も多く報告がありました。今シーズンである2019年第36週から2020年第10週までの累積報告数は1139件で、性別では男性が53.5%(609名)、女性が46.5%(530名)となっており、年齢階級別では6歳(14.9%:170名)、5歳(13.0%:148名)、4歳(12.8%:146名)の順で多くなっています。

